

泉崎村まち・ひと・しごと創生総合戦略 PDCAサイクル 進捗管理シート

平成 28 年度分	担当課	事業課産業グループ
基本目標	1 ひとを育む	
施策の枠組み	(1) 結婚・出産・子育てへの切れ目のない支援	
具体的施策	① 非婚化・晩婚化対策	
事業名	婚活イベント企画事業	
事業概要	最終予算額 100 千円	決算額 100 千円
	他市町村との連携や、スポーツ等を絡めた独自の婚活イベントの企画等により、若い世代を中心とした結婚希望者の出会いの場の創出に努めます。	

計画 (P) ↓ 実施 (D)	目標事項・進捗状況	目標事項	婚活イベント実施回数（参加者数）					
		KPI	3 回 20 人（H31 年度）					
		現状値	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度	備考
		数 値	—	3 回 10 人	4 回 8 人			
		達成率	—	50%	40%			
		目標事項						
		KPI						
		現状値	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度	備考
		数 値						
		達成率						

平成 28 年度	評価 (C)	28 年度評価	
		担当課 評 価	県南 9 市町村で連携し、ふれあいの場創出事業として婚活イベント「出逢い&ふれあいの会」を年 4 回実施。泉崎村からの参加者は計 8 名で全員男性だった。
		C	
	改善 (A)	29 年度における取り組みなど	
			ホームページへの掲載や、地元商店へのポスター掲示を行ったが参加者数が増えなかった。今後は広報での全戸配布も検討する。また、女性参加者が集まらないことが多かったため、近隣市町村と協議する。
	委員会意見	評価等に対する意見	
		委員会 評 価	総合戦略の KPI 達成に有効であった。
		C	

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

泉崎村まち・ひと・しごと創生総合戦略 P D C A サイクル 進捗管理シート

平成 28 年度分		担当課	住民福祉課福祉グループ
基本目標	1 ひとを育む		
施策の枠組み	(1) 結婚・出産・子育てへの切れ目のない支援		
具体的施策	②子育て環境の整備		
事業名	幼児定期検診事業		
事業概要	最終予算額	774 千円	決算額 766 千円
	子どもの健診を実施することにより、身体発育、精神発達等の異常の有無を早期に発見し、適切な指導を行うとともに、母親に対して育児不安を除き、安心して育児ができるよう支援する。		

計画 (P) ↓ 実施 (D)	目標事項・進捗状況	目標事項	幼児定期健診受診率					
		K P I	98% (H31 年度)					
		現状値	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度	備考
		数 値	—	94.7%	99.2%			
		達成率	—	97%	101%			
		目標事項						
		K P I						
		現状値	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度	備考
		数 値		99.2%	96.0%			
		達成率						

平成 28 年度	評価 (C)	28 年度評価	
		担当課 評 価	1 歳 6 か月児健診 40 名（100％）、3 歳児健診 56 名（93.3％）受診し、 未受診者 4 名についても次年度受診勧奨していく。ほぼ全ての方が受 診できるよう取り組んでいる。
		A	
	改善 (A)	29 年度における取り組みなど	
		順調に推移しているため、継続して事業を実施していく。	
	委員会意見	評価等に対する意見	
		委員会 評 価	総合戦略の KPI 達成に有効であった。
A			

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

泉崎村まち・ひと・しごと創生総合戦略 PDCAサイクル 進捗管理シート

平成 28 年度分		担当課	教育課学校教育グループ
基本目標	1 ひとを育む		
施策の枠組み	(1) 結婚・出産・子育てへの切れ目のない支援		
具体的施策	③学習・教育の場の充実		
事業名	基礎学力向上推進事業		
事業概要	最終予算額 11,938 千円	決算額	9,072 千円
	プチスクール土曜学習会の開校 中学校放課後学習会 1 年～3 年（数学・英語）等		

計画 (P) ↓ 実施 (D)	目標事項・進捗状況	目標事項	プチスクール土曜学習会の実施回数					
		KPI	51 回 (H31 年度)					
		現状値	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度	備考
		数 値	—	47 回	47 回			
		達成率	—	92 %	92 %			
		目標事項						
		KPI						
		現状値	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度	備考
		数 値						
		達成率						

平成 28 年度	評価 (C)	28 年度評価	
		担当課 評 価	ほぼ目標どおり進捗している。
		B	
	改善 (A)	29 年度における取り組みなど	
		回数はほぼ目標どおりであるが、参加者数の増加を図るため、平成 29 年度は、 習熟度により発展的クラスと基礎クラスを設け、小学児童は 5 月から、中学生は 6 月から毎週土曜日学習会を実施する	
	委員会 意見	評価等に対する意見	
		委員会 評 価	総合戦略の KPI 達成に有効であった
		B	

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

泉崎村まち・ひと・しごと創生総合戦略 PDCAサイクル 進捗管理シート

平成 28 年度分	担当課	教育課学校教育グループ
基本目標	1 ひとを育む	
施策の枠組み	(1) 結婚・出産・子育てへの切れ目のない支援	
具体的施策	③学習・教育の場の充実	
事業名	学校などを通じた健康教育・食育の充実事業	
事業概要	最終予算額 0 千円	決算額 0 千円
	健康教育・食育教育の強化により子どもたちの生きる力を育てる。	

計画 (P) ↓ 実施 (D)	目標事項・進捗状況	目標事項	健康教育・食育の小・中カリキュラムへの導入						
		KPI	導入済 (H31 年度)						
		現状値	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度	備考	
		数 値	—	未導入	未導入				
		達成率	—	0 %	0 %				
		目標事項							
		KPI							
		現状値	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度	備考	
		数 値							
		達成率							

平成 28 年度	評価 (C)	28 年度評価		
		担当課 評 価	栄養士による食育教育を給食の時間などを利用し実施している。	
		C		
	改善 (A)	29 年度における取り組みなど		
		給食センター、栄養教員が小学校・中学校を訪問し、各クラス年 2 回、学級活動などの時間を利用し、食育活動を行う。現在、各学校と日程調整中。		
	委員会意見	評価等に対する意見		
		委員会 評 価	総合戦略の KPI 達成に有効であった。	
		C		

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

泉崎村まち・ひと・しごと創生総合戦略 P D C A サイクル 進捗管理シート

平成 28 年度分	担当課	住民福祉課福祉グループ
基本目標	1 ひとを育む	
施策の枠組み	(1) 結婚・出産・子育てへの切れ目のない支援	
具体的施策	④経済的支援の推進	
事業名	泉崎村特定不妊治療費助成事業	
事業概要	最終予算額	750千円
	決算額	318千円
子どもを希望しながらも恵まれない夫婦に対し、特定不妊治療に要する治療費の一部を助成することにより、経済的負担の軽減並びに少子化対策の推進を図る。		

計画 (P) ↓ 実施 (D)	目標事項・進捗状況	目標事項	特定不妊治療費助成受給者の出生数					
		K P I	2 人 (H31 年度)					
		現状値	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度	備考
		数 値	1 人	1 人				
		達成率	50%	50%				
		目標事項						
		K P I						
		現状値	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度	備考
		数 値	2 人	0 人				
		達成率						

平成 28 年度	評価 (C)	28 年度評価		
		担当課 評 価	29 年度から男性不妊も助成対象とした。住民への周知を図り継続して事業を実施していく。	
		B		
	改善 (A)	29 年度における取り組みなど		
		継続して事業を実施していく。		
	委員会意見	評価等に対する意見		
		委員会 評 価	総合戦略の KPI 達成に有効であった。	
		B		

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

泉崎村まち・ひと・しごと創生総合戦略 P D C A サイクル 進捗管理シート

平成 28 年度分	担当課	総務課企画財政グループ
基本目標	1 ひとを育む	
施策の枠組み	(1) 結婚・出産・子育てへの切れ目のない支援	
具体的施策	⑤ワーク・ライフ・バランスの推進	
事業名	ワーク・ライフ・バランス啓発推進事業	
事業概要	最終予算額 0 千円	決算額 0 千円
	ワーク・ライフ・バランスの実現に向けて、子育てを行う若い世代等の長時間労働を削減するため、フレックスタイム制度や朝方勤務制度の実施を推進します。 また、フレックス育児休暇等の制度を設けた企業・事業者に対する、優良企業の認定を行うことにより、出産・育児と仕事の両立の実現を支援します。	

計画 (P) ↓ 実施 (D)	目標事項・進捗状況	目標事項	ワーク・ライフ・バランス優良企業認定数					
		K P I	1 (H31 年度)					
		現状値	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度	備考
		数 値	0	0				
		達成率	0 %	0 %				
		目標事項						
		K P I						
		現状値	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度	備考
		数 値						
		達成率						

平成 28 年度	評価 (C)	28 年度評価	
		担当課 評 価	ワーク・ライフ・バランス優良企業を認定するための、情報収集を行い、制度設計に向けた作業を早期に実施したい。
		C	
	改善 (A)	29 年度における取り組みなど	
		ワーク・ライフ・バランス優良企業を認定するための、先進事例の情報収集を行い、制度設計に向けた作業を早期に実施したい。	
	委員会意見	評価等に対する意見	
		委員会 評 価	総合戦略の KPI 達成に有効であった。
		C	

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
- B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
- C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
- D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
- E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

泉崎村まち・ひと・しごと創生総合戦略 P D C A サイクル 進捗管理シート

平成 28 年度分	担当課	事業課産業グループ
基本目標	2 しごとをつくる	
施策の枠組み	(1) 企業誘致等の促進	
具体的施策	①企業誘致による雇用創出	
事業名	企業誘致事業	
事業概要	最終予算額 2,574 千円	決算額 475,036 千円
	自然環境との調和に配慮しながら、官民一体となった企業誘致体制を確立し、高い成長が見込まれる医療・福祉関連産業やソフト系 I T 関連産業等に加え、商業施設の立地可能性の検討等、多様な企業の誘致による雇用創出を推進します。	

計画 (P) ↓ 実施 (D)	目標事項・進捗状況	目標事項	誘致企業数					
		K P I	3 社 (H31 年度までの 5 年間累計)					
		現状値	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度	備考
		数 値	1 社	2 社				
		達成率	3 3 %	6 6 %				
		目標事項						
		K P I						
		現状値	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度	備考
		数 値						
		達成率						

平成 28 年度	評価 (C)	28 年度評価	
		担当課 評 価	今年度は、中核工業団地において買い増しや新規購入を含め 3 件の土地売買があり、その内 2 社の企業で来年度から事業を開始予定していることから雇用創出面でも期待している。
		A	
	改善 (A)	29 年度における取り組みなど	
		今年度は、村有地に 1 社買い増しを希望する企業が決定している。 なお、工業団地においては、売却可能な土地を有していないことから、既存企業へ村出身者の雇用について働きかけていきたい。	
	委員会意見	評価等に対する意見	
		委員会 評 価	総合戦略の KPI 達成に有効であった。
		A	

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

泉崎村まち・ひと・しごと創生総合戦略 P D C A サイクル 進捗管理シート

平成 28 年度分		担当課	事業課産業グループ
基本目標	2 しごとをつくる		
施策の枠組み	(1) 企業誘致等の促進		
具体的施策	②地域企業の競争力強化による雇用創出		
事業名	商店の活性化事業		
事業概要	最終予算額 3,500 千円	決算額	3,500 千円
	県や村商工会等との連携を強化し、商業振興制度の拡充により、村内の商店の活性化を図ることにより、商業の総合的な発展を目指します。		

計画 (P) ↓ 実施 (D)	目標事項・進捗状況	目標事項	村内商店数					
		K P I	3 7 (H31 年度)					
		現状値	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度	備考
		数 値	—	3 4	3 4			
		達成率	—	9 2 %	9 2 %			
		目標事項						
		K P I						
		現状値	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度	備考
		数 値						
		達成率						

平成 28 年度	評価 (C)	28 年度評価	
		担当課 評 価	商工振興事業補助金として、村商工会に補助金を交付し、商工会及び 商工会加盟商店等の活性化に寄与した。
		B	
	改善 (A)	29 年度における取り組みなど	
		同補助事業を継続し、村主催事業等への積極的参加を呼びかけるとともに、自らの地域活性化事業の展開を促す。	
	委員会意見	評価等に対する意見	
		委員会 評 価	総合戦略の KPI 達成に有効であった。
		B	

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

泉崎村まち・ひと・しごと創生総合戦略 PDCAサイクル 進捗管理シート

平成 28 年度分	担当課	事業課産業グループ
基本目標	2 しごとをつくる	
施策の枠組み	(1) 企業誘致等の促進	
具体的施策	②地域企業の競争力強化による雇用創出	
事業名	高度化資金等の助成制度の促進事業	
事業概要	最終予算額 0 千円	決算額 0 千円
	県や村商工会等との連携を強化し、高度化資金等の助成制度の促進や商業振興制度の拡充により、村内の商店の活性化を図ることにより、商業の総合的な発展を目指します。	

計画 (P) ↓ 実施 (D)	目標事項・進捗状況	目標事項	高度化資金の助成件数					
		KPI	1 件 (H31 年度)					
		現状値	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度	備考
		数 値	—	0 件	0 件			
		達成率	—	0 %	0 %			
		目標事項						
		KPI						
		現状値	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度	備考
		数 値						
		達成率						

平成 28 年度	評価 (C)	28 年度評価	
		担当課 評価	目標にある高度化資金等の助成制度の利用等の実績はないが、今後も県や村商工会との連携を密に行い、村内商店の活性化を図る。
		D	
	改善 (A)	29 年度における取り組みなど	
		高度化資金制度の内容を知らない事業者もいることから、広報紙等で周知し事業者へ情報提供していきたい。	
	委員会意見	評価等に対する意見	
		委員会 評価	総合戦略の KPI 達成に有効とは言えない。
		D	

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

泉崎村まち・ひと・しごと創生総合戦略 P D C A サイクル 進捗管理シート

平成 28 年度分	担当課	事業課産業グループ
基本目標	2 しごとをつくる	
施策の枠組み	(1) 企業誘致等の促進	
具体的施策	③若年層等の新規就業・創業への支援	
事業名	新規創業者・新事業展開補助金事業	
事業概要	最終予算額 0 千円	決算額 0 千円
	企業誘致等に伴う求人情報の提供や必要な職業訓練について、関係機関と連携した支援を強化します。また、村内で創業・起業する事業者に対する補助金の交付や、活用可能な空き家・空き店舗等の情報提供等の支援を行い、新たな事業の立ち上げを促進します。	

計画 (P) ↓ 実施 (D)	目標事項・進捗状況	目標事項	創業・起業に活用された空き家・空き店舗数					
		K P I	5 件 (H31 年度)					
		現状値	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度	備考
		数 値	—	3 件	0 件			
		達成率	—	6 0 %	0 %			
		目標事項	創業・起業数					
		K P I	1 0 件 (H31 年度)					
		現状値	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度	備考
		数 値	—	8 件	0 件			
		達成率	—	8 0 %	0 %			

平成 28 年度	評価 (C)	28 年度評価	
		担当課 評 価	本年度、中核工業団地の土地が売買された事により、来年度から新規事業者が工場の操業を開始する予定としている事から、村内住民の雇用に働きかけたいと考える。
		C	
	改善 (A)	29 年度における取り組みなど	
		村内で空き家等を活用して、創業・起業したいという問い合わせ等はないが、他市町村の取り組みも参考にしながら今後検討したい。	
	委員会意見	評価等に対する意見	
		委員会 評 価	総合戦略の KPI 達成に有効であった。
C			

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

泉崎村まち・ひと・しごと創生総合戦略 PDCAサイクル 進捗管理シート

平成 28 年度分	担当課	事業課産業グループ
基本目標	2 しごとをつくる	
施策の枠組み	(2) 産品の販路拡大	
具体的施策	①村産品の販路開拓へ向けた地産地消	
事業名	地産地消の推進事業	
事業概要	最終予算額 3,200 千円	決算額 3,011 千円
	風評被害払拭及び地産地消推進のため、県外において村の農産物や特産品の販売をするとともに、観光や住宅団地の PR をすることを目的に実施。	

計画 (P) ↓ 実施 (D)	目標事項・進捗状況	目標事項	村産品の取り扱い施設・店舗数					
		KPI	12 (H31 年度)					
		現状値	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度	備考
		数 値	—	9	9			
		達成率	—	75%	75%			
		目標事項						
		KPI						
		現状値	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度	備考
		数 値						
		達成率						

平成 28 年度	評価 (C)	28 年度評価	
		担当課 評 価	目標事項に掲げている特産品の取扱施設・店舗数では、実績がないが、県外のイベントに積極的に参加し、地元農産物や観光及び住宅地の PR 活動を実施した
		B	
	改善 (A)	29 年度における取り組みなど	
		農産物等を販売・観光及び住宅地の PR 活動を実施する時に、地元農産物や特産品を販売 PR することとしている。年間約 10 回程度、参加及び開催している。今後も継続していく。	
	委員会意見	評価等に対する意見	
		委員会 評 価	総合戦略の KPI 達成に有効であった。
		B	

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

泉崎村まち・ひと・しごと創生総合戦略 P D C A サイクル 進捗管理シート

平成 28 年度分	担当課	事業課産業グループ
基本目標	2 しごとをつくる	
施策の枠組み	(2) 産品の販路拡大	
具体的施策	②農林畜産物の販路開拓	
事業名	観光案内所を兼ねた直売所建設の検討事業	
事業概要	最終予算額 2,910 千円	決算額 2,910 千円
	泉崎村総合直売所（仮称）検討委員会を実施し、近い将来観光案内所を兼ね備えた総合直売所建設することにより、村の農業生産者の販路拡大に繋げる。	

計画 (P) ↓実施 (D)	目標事項・進捗状況	目標事項	直売所の開設数					
		K P I	3 箇所（H31 年度）					
		現状値	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度	備考
		数 値	—	2 箇所	0 箇所			
		達成率	—	6 7 %	0 %			
		目標事項						
		K P I						
		現状値	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度	備考
		数 値						
		達成率						

平成 28 年度	評価 (C)	28 年度評価	
		担当課 評 価	平成 2 8 年度中に予算化した建物の実施設計及び建設工事については、平成 2 9 年度に予算を繰越して実施している。
		C	継続して実行委員会で協議し、運営方法や運営管理者の選定をする予定。
	改善 (A)	29 年度における取り組みなど	
		年内には、補助事業等を活用し建物が完成する予定となっているので、運営方法を始めオープンに向け準備を進めていきたい。	
	委員会意見	評価等に対する意見	
		委員会 評 価	総合戦略の KPI 達成に有効であった。
		C	

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

泉崎村まち・ひと・しごと創生総合戦略 P D C A サイクル 進捗管理シート

平成 28 年度分		担当課	事業課産業グループ
基本目標	2 しごとをつくる		
施策の枠組み	(2) 産品の販路拡大		
具体的施策	②農林畜産物の販路開拓		
事業名	県のアンテナショップへの出品事業		
事業概要	最終予算額 0 千円	決算額	0 千円
	県のアンテナショップ (MIDETTE) 日本橋ふくしま館等へ泉崎村の農産物等を出品することにより、販路開拓及び泉崎村の PR をすることを目標とする。		

計画 (P) ↓ 実施 (D)	目標事項・進捗状況	目標事項	県アンテナショップの村産品取扱品目数					
		K P I	1 品 (H31 年度)					
		現状値	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度	備考
		数 値	—	0 品	0 品			
		達成率	—	0 %	0 %			
		目標事項						
		K P I						
		現状値	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度	備考
		数 値						
		達成率						

平成 28 年度	評価 (C)	28 年度評価	
		担当課 評価	今年度については、日本橋ふくしま館で平成 29 年 1 月 21 日・22 日に地元農産物やはと麦製品等を販売している。
		C	県のアンテナショップでの村産品の取扱いはなかった。
	改善 (A)	29 年度における取り組みなど	
			今後は、アンテナショップに出品方法を確認して販路拡大に繋げる。
	委員会意見	評価等に対する意見	
		委員会 評価	総合戦略の KPI 達成に有効であった。
		C	

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

泉崎村まち・ひと・しごと創生総合戦略 P D C A サイクル 進捗管理シート

平成 28 年度分	担当課		事業課産業グループ
基本目標	2 しごとをつくる		
施策の枠組み	(3) 未来につながる農業づくり		
具体的施策	①農業生産基盤の強化		
事業名	経営体育成対策事業		
事業概要	最終予算額 127 千円	決算額 127 千円	
	地域の将来を担う中心経営体の育成・確保を図ることが課題となっている。中心経営体が、経営規模の拡大や農産物の加工・流通・販売等の経営の多角化等に取り組む際に必要となる農業用機械等の導入について支援する。		

計画 (P) ↓ 実施 (D)	目標事項・進捗状況	目標事項	育成対象とする農業経営体数					
		K P I	6 (H31 年度)					
		現状値	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度	備考
		数 値	—	5	5			
		達成率	—	83%	83%			
		目標事項						
		K P I						
		現状値	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度	備考
		数 値						
		達成率						

平成 28 年度	評価 (C)	28 年度評価	
		担当課 評 価	今年度については、実績がなかったが、今後、福島県、J A 等関係機関と連携して事業の継続を図る。
		C	
	改善 (A)	29 年度における取り組みなど	
		事業概要について、農政説明会等で情報提供を行って行きたい。	
	委員会意見	評価等に対する意見	
		委員会 評 価	総合戦略の KPI 達成に有効であった。
		C	

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

泉崎村まち・ひと・しごと創生総合戦略 PDCAサイクル 進捗管理シート

平成 28 年度分	担当課	事業課産業グループ
基本目標	2 しごとをつくる	
施策の枠組み	(3) 未来につながる農業づくり	
具体的施策	①農業生産基盤の強化	
事業名	集落営農対策事業	
事業概要	最終予算額 0 千円	決算額 0 千円
	近年、農家の高齢化及び地域における担い手・後継者不足が課題となっている。地域農地の継続的な耕作・維持管理のため、集落ぐるみで集落全体の農業生産の効率化と所得向上を図り合理的な農業の展開を支援する。	

計画 (P) ↓ 実施 (D)	目標事項・進捗状況	目標事項	集落営農組織数					
		KPI	3 (H31 年度)					
		現状値	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度	備考
		数 値	—	2	2			
		達成率	—	66%	66%			
		目標事項						
		KPI						
		現状値	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度	備考
		数 値						
		達成率						

平成 28 年度	評価 (C)	28 年度評価	
		担当課 評 価	現在活動している二つ集落営農組織は、村内全域を活動範囲としており経営所得安定対策事業への加入を主たる目的として設立されている。今後設立する組織については、地域の情勢に合わせた集落単位の営農組織の設立を目指す。
		C	
	改善 (A)	29 年度における取り組みなど	
		担い手・後継者不足が予測される地域の把握に努める。	
	委員会意見	評価等に対する意見	
		委員会 評 価	総合戦略の KPI 達成に有効であった。
		C	

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

泉崎村まち・ひと・しごと創生総合戦略 P D C A サイクル 進捗管理シート

平成 28 年度分		担当課	事業課産業グループ
基本目標	2 しごとをつくる		
施策の枠組み	(3) 未来につながる農業づくり		
具体的施策	②農業の6次産業化の推進		
事業名	6次産業化の推進事業		
事業概要	最終予算額 2,158 千円		決算額 1,010 千円
	魅力ある農業を推進するため、農業等を使用しない農法（有機栽培）を実施する。		
	事業内容としては、試験研究を目的とした農地（圃場）を借用し、一般参加者により有機栽培を実施する。		
	また、将来的には収穫した農産物を利活用した6次化商品の開発を行い、村の魅力を発信できる特産品にする。		

計画 (P) ↓ 実施 (D)	目標事項・進捗状況	目標事項	6次産業化による製品開発数					
		K P I	1 (H31 年度)					
		現状値	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度	備考
		数 値	—	0	0			
		達成率	—	0 %	0 %			
		目標事項						
		K P I						
		現状値	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度	備考
		数 値						
		達成率						

平成 28 年度	評価 (C)	28 年度評価	
		担当課 評 価	今年度については、有機栽培を目指している圃場に（玉葱 3 万本、にんにく 150 kg、すなっぷえんどう、菜の花 50a）を 11 月上旬に作付・種蒔きしたところである。一般参加者が少ないため、多くの方に参加してもらえよう周知していきたい。
		C	
	改善 (A)	29 年度における取り組みなど	
			一般参加者を含め、有機栽培の知識が乏しいため各種研修に積極的に参加し、知識を深める他、県の関係機関・関係農業者と連携しながら作付農作物が良い状態で収穫出来るよう努力したい。また、新しい農作物の作付にも取り組む。
	委員会意見	評価等に対する意見	
		委員会 評 価	総合戦略の KPI 達成に有効であった。
		C	

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

泉崎村まち・ひと・しごと創生総合戦略 P D C A サイクル 進捗管理シート

平成 28 年度分	担当課	事業課産業グループ
基本目標	2 しごとをつくる	
施策の枠組み	(3) 未来につながる農業づくり	
具体的施策	③農業の担い手の育成・確保	
事業名	新規就農者等への支援事業（青年就農給付金事業）	
事業概要	最終予算額 5,250 千円	決算額 5,250 千円
	農業従事者の高齢化及び地域の担い手農家不足が進展する中、持続可能な力強い農業を実現するには、青年の新規就農者を増加させる必要があり、新規就農するにあたっては、技術の習得や所得の確保等が課題となっていることから、経営が不安定な就農直後（5 年以内）の所得を確保する給付金を給付し、青年の新規就農者を増加させることを目的とする。	

計画 (P) ↓ 実施 (D)	目標事項・進捗状況	目標事項	新規就農者数					
		K P I	6 人 (H31 年度)					
		現状値	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度	備考
		数 値	—	4 人	0 人			
		達成率	—	6 7 %	0 %			
		目標事項						
		K P I						
		現状値	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度	備考
		数 値						
		達成率						

平成 28 年度	評価 (C)	28 年度評価	
		担当課 評 価	本年度においては、新規就農者がいなかった。今後は事業の情報発信を行っていききたい。
		C	
	改善 (A)	29 年度における取り組みなど	
			福島県、J A 等と情報を共有し就農希望者の掘り起こしや新規就農に関する相談体制を強化すると共に情報の発信を実施する。
	委員会意見	評価等に対する意見	
		委員会 評 価	総合戦略の KPI 達成に有効であった。
		C	

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

泉崎村まち・ひと・しごと創生総合戦略 P D C A サイクル 進捗管理シート

平成 28 年度分	担当課	事業課産業グループ
基本目標	3 ひとの流れをつくる	
施策の枠組み	(1) 移住・定住の促進	
具体的施策	①首都圏を中心とした移住・定住の情報発信	
事業名	泉崎村ライフスタイル提案事業	
事業概要	最終予算額 1,394 千円	決算額 1,394 千円
	泉崎村への移住を検討している人のため、過去に移住した人を対象に、村での生活を調査し、ライフスタイルの例として冊子作成・HPへの公開を行います。	

計画 (P) ↓ 実施 (D)	目標事項・進捗状況	目標事項	泉崎村ライフスタイル調査の実施					
		K P I	実施済 (H31 年度)					
		現状値	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度	備考
		数 値	—	未実施	実施済			
		達成率	—	0 %	100 %			
		目標事項	泉崎村ライフスタイル冊子の作成					
		K P I	作成済 (H31 年度)					
		現状値	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度	備考
		数 値	—	未作成	未作成			
		達成率	—	0 %	0 %			

平成 28 年度	評価 (C)	28 年度評価	
		担当課 評 価	①天王台移住者にスポットをあてた動画を作成しホームページ上に掲載した。2 件 (わっはっは!! 泉崎村交流拡大事業委託費 800,000 円) ②移住者に協力してもらい、田舎暮らしの本に掲載し、天王台ニュータウンでの生活を PR した。(広告料 594,000 円)
	改善 (A)	B	
		29 年度における取り組みなど	動画を撮影しホームページに公開したがアクセス数があまり伸びていないため、PR 方法を再考する必要がある。動画の公開については毎年行っていきたい。また、冊子の作成に関しては、予算の状況をみて判断する。
	委員会意見	評価等に対する意見	
		委員会 評 価	総合戦略の KPI 達成に有効であった。
		B	

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

泉崎村まち・ひと・しごと創生総合戦略 PDCAサイクル 進捗管理シート

平成 28 年度分		担当課	教育課学校教育グループ
基本目標	3 ひとの流れをつくる		
施策の枠組み	(1) 移住・定住の促進		
具体的施策	②地域のニーズに対応した移住者受入体制の構築		
事業名	Uターン者等の奨学金の減免事業		
事業概要	最終予算額 0 千円	決算額 0 千円	
	泉崎村出身者が大学卒業後に村内に居住・就職すること等による奨学金の一部減免		

計画 (P) ↓ 実施 (D)	目標事項・進捗状況	目標事項	奨学金の減免者数					
		KPI	3 人 (H31 年度)					
		現状値	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度	備考
		数 値	—	0 人	0 人			
		達成率	—	0 %	0 %			
		目標事項						
		KPI						
		現状値	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度	備考
		数 値						
		達成率						

平成 28 年度	評価 (C)	28 年度評価	
		担当課 評 価	要綱も出来ていない。検討を要するがまだ取り組んでいない。
		D	
	改善 (A)	29 年度における取り組みなど	
		特に取り組んでいない。	
	委員会意見	評価等に対する意見	
		委員会 評 価	総合戦略の KPI 達成に有効とは言えない。
		D	

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

泉崎村まち・ひと・しごと創生総合戦略 PDCAサイクル 進捗管理シート

平成 28 年度分	担当課		総務課企画財政グループ
基本目標	3 ひとの流れをつくる		
施策の枠組み	(1) 移住・定住の促進		
具体的施策	②地域のニーズに対応した移住者受入体制の構築		
事業名	地域おこし協力隊の活用事業		
事業概要	最終予算額 0 千円	決算額 0 千円	
	地域の理解と協力を得て地域おこし協力隊の受け入れを行い、移住・定住を促進します。		

計画 (P) ↓ 実施 (D)	目標事項・進捗状況	目標事項	地域おこし協力隊の受け入れ数					
		KPI	1 人 (H31 年度)					
		現状値	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度	備考
		数 値	—	0 人	0 人			
		達成率	—	0 %	0 %			
		目標事項						
		KPI						
		現状値	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度	備考
		数 値						
		達成率						

平成 28 年度	評価 (C)	28 年度評価	
		担当課 評 価	地域おこし協力隊の受け入れに向けて情報収集をしている。
		C	
	改善 (A)	29 年度における取り組みなど	
		地域おこし協力隊の受け入れを行っている近隣市町村の担当者等から情報収集を行いたい。	
	委員会 意見	評価等に対する意見	
		委員会 評 価	総合戦略の KPI 達成に有効であった。
		C	

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

泉崎村まち・ひと・しごと創生総合戦略 PDCAサイクル 進捗管理シート

平成 28 年度分		担当課	事業課産業グループ
基本目標	3 ひとの流れをつくる		
施策の枠組み	(1) 移住・定住の促進		
具体的施策	③住まいの確保による移住・定住促進		
事業名	若者定住賃貸住宅建設事業		
事業概要	最終予算額 14,862 千円	決算額 14,862 千円	
	若年層の方々の定住促進を図ることにより、人口の増加及び地域社会の活性化を目指す。		

計画 (P) ↓ 実施 (D)	目標事項・進捗状況	目標事項	若者定住賃貸住宅建設数					
		KPI	3 戸 (H31 年度)					
		現状値	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度	備考
		数 値	—	1 戸	2 戸			
		達成率	—	33%	66%			
		目標事項						
		KPI						
		現状値	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度	備考
		数 値						
		達成率						

平成 28 年度	評価 (C)	28 年度評価	
		担当課 評 価	28 年度までに、2 棟が完成し既に入居されている。 また、入居者の方々には積極的に村のイベントに参加して頂くなど村の活性化に大いに貢献していただいている。
		A	
	改善 (A)	29 年度における取り組みなど	
		3 号棟を建設予定であり、年度内には入居者を募集し、抽選・引渡しを行う予定としている。	
	委員会意見	評価等に対する意見	
		委員会 評 価	総合戦略の KPI 達成に有効であった。
		A	

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

泉崎村まち・ひと・しごと創生総合戦略 PDCAサイクル 進捗管理シート

平成 28 年度分		担当課	事業課建設水道グループ
基本目標	3 ひとの流れをつくる		
施策の枠組み	(1) 移住・定住の促進		
具体的施策	③住まいの確保による移住・定住促進		
事業名	公営住宅・定住促進住宅長寿命化対策事業（公営住宅等ストック総合改善事業）		
事業概要	最終予算額	0 千円	決算額 0 千円
	H26 年度～H35 年度までの 10 年間を長寿命化計画期間とし、前期・後期 5 年ずつとし計画内容は 5 年ごとに見直すこととなっている。村営住宅・定住促進住宅においては、耐用年数を超過・または耐用年数の過半を超過した住戸はない。しかし、躯体の耐久性、経年劣化による設備類の改修が重要な課題であるため、定期点検等を踏まえた効果的な計画のもと、ストックを有効的に維持管理するため、計画的な修繕・改善等の検討も行う。		

計画 (P) ↓ 実施 (D)	目標事項・進捗状況	目標事項	長寿命化実施済み公営住宅数					
		K P I	1 棟 (H31 年度)					
		現状値	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度	備考
		数 値	—	0 棟	0 棟			
		達成率	—	0 %	0 %			
		目標事項						
		K P I						
		現状値	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度	備考
		数 値						
		達成率						

平成 28 年度	評価 (C)	28 年度評価	
		担当課	平成 28 年度においては、修繕・改善箇所はなかったが、今後も定期的な建築物・設備等の定期検査を行い、予防保全的な維持管理に努め、耐久性の向上などを目的とし、公営住宅・定住促進住宅の長寿命化を図る。
		評 価	
	(A) 改善	B	
		29 年度における取り組みなど	
	委員会意見	計画に基づき、定期点検を実施し、建物の老朽化・劣化による事故等を未然に防ぐとともに、修繕工事の効率的な実施につなげる。	
評価等に対する意見			
委員会		総合戦略の KPI 達成に有効であった。	
評 価			
	B		

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

泉崎村まち・ひと・しごと創生総合戦略 P D C A サイクル 進捗管理シート

平成 28 年度分	担当課		総務課企画財政グループ
基本目標	3 ひとの流れをつくる		
施策の枠組み	(1) 移住・定住の促進		
具体的施策	④交通利便性の向上		
事業名	高速バス乗降場の設置事業		
事業概要	最終予算額 13,381 千円	決算額 13,381 千円	
	矢吹インターチェンジ付近に高速バスの停留所「矢吹泉崎バスストップ」を整備することにより、近隣市町村の利便性を首都圏に強く印象付け、来訪者の増加や二地域居住の推進を図る。 平成 30 年度供用開始予定。		

計画 (P) ↓ 実施 (D)	目標事項・進捗状況	目標事項	高速バス乗降場の設置					
		K P I	設置済 (H31 年度)					
		現状値	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度	備考
		数 値	—	未設置	未設置			
		達成率	—	0 %	0 %			
		目標事項						
		K P I						
		現状値	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度	備考
		数 値						
		達成率						

平成 28 年度	評価 (C)	28 年度評価	
		担当課 評 価	矢吹町が中心となって、測量、設計、用地交渉等の業務を行っている。
		B	
	改善 (A)	29 年度における取り組みなど	
		29 年度から 30 年度にかけて工事・補償・ネクスコの協議を行っていく。	
	委員会 意見	評価等に対する意見	
		委員会 評 価	総合戦略の KPI 達成に有効であった。
		B	

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

泉崎村まち・ひと・しごと創生総合戦略 P D C A サイクル 進捗管理シート

平成 28 年度分	担当課		総務課企画財政グループ
基本目標	3 ひとの流れをつくる		
施策の枠組み	(1) 移住・定住の促進		
具体的施策	④交通利便性の向上		
事業名	S u i c a の設置事業		
事業概要	最終予算額 0 円	決算額 0 円	
	J R 泉崎駅に簡易 Suica 改札機を設置することにより、泉崎駅を利用する方の利便性を向上させる。 泉崎駅の利便性が向上することにより、通勤・通学で利用する方が増え、人口減少に歯止めをかけたい。		

計画 (P) ↓ 実施 (D)	目標事項・進捗状況	目標事項	S u i c a の設置					
		K P I	設置済 (H31 年度)					
		現状値	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度	備考
		数 値	—	未設置	未設置			
		達成率	—	0 %	0 %			
		目標事項						
		K P I						
		現状値	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度	備考
		数 値						
		達成率						

平成 28 年度	評価 (C)	28 年度評価	
		担当課 評 価	福島県鉄道活性化対策協議会を通し J R 東日本本社等への要望した結果、「導入には非常にお金がかかることから、利用状況や導入によって見込まれる効果を総合的に勘案していきたい。」と回答があった。
		B	
	改善 (A)	29 年度における取り組みなど	
		導入に向けて継続して要望していきたい。	
	委員会意見	評価等に対する意見	
		委員会 評 価	総合戦略の KPI 達成に有効であった。
		B	

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

泉崎村まち・ひと・しごと創生総合戦略 P D C A サイクル 進捗管理シート

平成 28 年度分		担当課	中央公民館
基本目標	3 ひとの流れをつくる		
施策の枠組み	(1) 移住・定住の促進		
具体的施策	⑤郷土愛の醸成		
事業名	泉崎の魅力発見事業		
事業概要	最終予算額 0 千円		決算額 0 千円
	村内外に呼びかけ、泉崎の魅力を発見するためのフィールドワークを実施し、発見した魅力の活用について、ワークショップ等で検討します。		

計画 (P) ↓ 実施 (D)	目標事項・進捗状況	目標事項	魅力発見ワークショップの実施					
		K P I	実施済 (H31 年度)					
		現状値	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度	備考
		数 値	—	未実施	1			
		達成率	—	0 %	7 0 %			
		目標事項						
		K P I						
		現状値	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度	備考
		数 値						
		達成率						

平成 28 年度	評価 (C)	28 年度評価	
		担当課 評 価	泉崎村のシンボルである「鳥峠」の景観や環境を後世に残す「鳥峠の自然を守る会」を設立し、地域住民の交流の拠点となるよう環境の整備を進めた。
		B	また、自然を守る会の会員が案内人を務め、園児から大人まで鳥峠の美しい自然に触れ合える「自然観察会」を開催した。 ※平成 28 年度は地方創生加速化交付金事業で実施しました。
	改善 (A)	29 年度における取り組みなど	
		鳥峠の自然を守る会と中央公民館主催で 4 月 8 日 (土) 山開きと春に咲くカタクリをテーマとした、「かたくり祭り」を開催し、村内外から約 2 5 0 名が訪れ賑わいをみせた。 また今年度も自然の美しさを実感してもらうため、園児・小学生・村民を対象とした「自然観察会」を年 6 回予定している。	
	委員会意見	評価等に対する意見	
		委員会 評 価	総合戦略の KPI 達成に有効であった。
		B	

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

泉崎村まち・ひと・しごと創生総合戦略 P D C A サイクル 進捗管理シート

平成 28 年度分		担当課	教育課学校教育グループ
基本目標	3 ひとの流れをつくる		
施策の枠組み	(1) 移住・定住の促進		
具体的施策	⑤郷土愛の醸成		
事業名	泉崎村の特産品を活かした食育推進事業		
事業概要	最終予算額 734 千円		決算額 734 千円
	地場産の野菜（トマト・空芯菜・ブロッコリー等）やソバ、「夢味ポーク」「愛郷やき」等を活用した給食メニューの開発を推進し、地域の文化の豊かさを子どもたちに伝えることにより、郷土愛を醸成します。		

計画 (P) ↓ 実施 (D)	目標事項・進捗状況	目標事項	村産品を活用した給食の延べ回数					
		K P I	月 4 5 回 (H31 年度)					
		現状値	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度	備考
		数 値	—	月 33 回	月 23 回			
		達成率	—	73%	51%			
		目標事項						
		K P I						
		現状値	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度	備考
		数 値						
		達成率						

平成 28 年度	評価 (C)	28 年度評価	
		担当課 評 価	調理時間の制約があるため、村内産を利用する際には一次処理を必要とするため、村内産で利用しているものは、加工物が多い。生ものが利用できない。
		D	
	改善 (A)	29 年度における取り組みなど	
		調理時間の制約があるため、村内産を利用する際には一次処理を必要とする。そのため冷凍物を利用してしまいがちが多い。米・味噌・椎茸は村内産を使用、ブロッコリーは白河産の冷凍品を使用、また、大根・にんじんなどの野菜について直売所から購入するなど、地産地消に取り組んでいく。	
	委員会意見	評価等に対する意見	
		委員会 評 価	総合戦略の KPI 達成に有効とは言えない。
D			

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

泉崎村まち・ひと・しごと創生総合戦略 P D C A サイクル 進捗管理シート

平成 28 年度分	担当課		総務課企画財政グループ
基本目標	3 ひとの流れをつくる		
施策の枠組み	(2) 観光振興による人の流れの促進		
具体的施策	①国内外からの観光誘客		
事業名	SNSを活用した情報発信事業		
事業概要	最終予算額 600 千円	決算額 599 千円	
	観光に関するホームページ作成やフェイスブック等のSNS活用により、村の魅力等の情報発信力を強化します。		

計画 (P) ↓ 実施 (D)	目標事項・進捗状況	目標事項	SNS 対応ホームページへの平均アクセス数					
		K P I	1 0 0 回/日 (H31 年度)					
		現状値	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度	備考
		数 値	—	164 回	1,846 回			
		達成率	—	164%	1846%			
		目標事項						
		K P I						
		現状値	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度	備考
		数 値						
		達成率						

平成 28 年度	評価 (C)	28 年度評価	
		担当課 評 価	目標以上に進捗している。
		A	
	改善 (A)	29 年度における取り組みなど	
		27 年 3 月よりホームページ制作を Web 制作会社に委託し、目標とするアクセス数を達成した。 ところどころ情報が古いページが散見されるので、見つけ次第更新・削除していく。	
	委員会 意見	評価等に対する意見	
		委員会 評 価	総合戦略の KPI 達成に有効であった。
		A	

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

泉崎村まち・ひと・しごと創生総合戦略 P D C A サイクル 進捗管理シート

平成 28 年度分		担当課	総務課企画財政グループ
基本目標	3 ひとの流れをつくる		
施策の枠組み	(2) 観光振興による人の流れの促進		
具体的施策	①国内外からの観光誘客		
事業名	公衆無線LAN整備事業		
事業概要	最終予算額 712 千円		決算額 712 千円
	2020 年までに主要な観光・防災拠点における重点整備箇所について、国が作成する整備計画に基づき、無料 Wi-Fi 環境の整備を推進する。		
	今年度は泉崎村役場、泉崎村保健福祉総合センター、泉崎村農村環境改善センターに公衆無線LANのアクセスポイントを整備することにより、観光客や村民に利便性の良さをアピールする。		

計画 (P) ↓ 実施 (D)	目標事項・進捗状況	目標事項	1 日の平均アクセス数					
		K P I	30 回					
		現状値	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度	備考
		数 値	—	169 回	154 回			
		達成率	—	563%	513%			
		目標事項						
		K P I						
		現状値	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度	備考
		数 値						
		達成率						

平成 28 年度	評価 (C)	28 年度評価		
		担当課 評 価	今年度実施予定の泉崎村公衆無線LAN整備工事は、今年度中に整備が完了する予定である。	
		B		
	(A) 改善	29 年度における取り組みなど		
		小学校と中学校に公衆無線LANを整備する予定である。		
	委員会意見	評価等に対する意見		
		委員会 評 価	総合戦略の KPI 達成に有効であった。	
		B		

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

泉崎村まち・ひと・しごと創生総合戦略 P D C A サイクル 進捗管理シート

平成 28 年度分	担当課	事業課産業グループ
基本目標	3 ひとの流れをつくる	
施策の枠組み	(2) 観光振興による人の流れの促進	
具体的施策	②観光地の再生	
事業名	観光モデルコースの策定事業	
事業概要	最終予算額 0 千円	決算額 0 千円
	村のシンボルである鳥峠の自然を活かした遊歩道や、村内幹線道路の桜並木の維持・整備を図るとともに、こうした観光資源をつないだ回遊型の観光モデルコースを策定します。	

計画 (P) ↓ 実施 (D)	目標事項・進捗状況	目標事項	観光モデルコースの策定					
		K P I	策定済 (H31 年度)					
		現状値	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度	備考
		数 値	—	未策定	未策定			
		達成率	—	0 %	0 %			
		目標事項						
		K P I						
		現状値	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度	備考
		数 値						
		達成率						

平成 28 年度	評価 (C)	28 年度評価		
		担当課 評 価	パークゴルフ場をオープンしたことに伴い、観光 PR を兼ねたホームページの作成を実施。	
		B	その他として、県南地方の観光 PR パンフレット等（しらかわぐるる・しらかわ周遊パスポート・魅力発見バスツアー）により、泉崎村の観光及びレジャー施設を掲載することにより PR 活動を行った。	
	改善 (A)	29 年度における取り組みなど		
		ホームページに最新の情報を掲載する。 また、県南地方の情報パンフレット等に泉崎村の旬の情報を掲載する。		
	委員会意見	評価等に対する意見		
		委員会 評 価	総合戦略の KPI 達成に有効であった。	
		B		

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

泉崎村まち・ひと・しごと創生総合戦略 P D C A サイクル 進捗管理シート

平成 28 年度分	担当課		事業課産業グループ
基本目標	3 ひとの流れをつくる		
施策の枠組み	(3) 観光・交流の基盤となるスポーツ・文化の振興		
具体的施策	①スポーツによる地域振興		
事業名	スポーツ合宿の誘致促進事業		
事業概要	最終予算額 0 千円	決算額 0 千円	
	豊富なスポーツ施設や村への首都圏等からの交通利便性を活かし、スポーツ合宿の誘致を推進する。		

計画 (P) ↓ 実施 (D)	目標事項・進捗状況	目標事項	スポーツ合宿の誘致数					
		K P I	1 5 0 (H31 年度)					
		現状値	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度	備考
		数 値	—	1 1 9	1 2 5			
		達成率	—	7 9 %	8 3 %			
		目標事項						
		K P I						
		現状値	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度	備考
		数 値						
		達成率						

平成 28 年度	評価 (C)	28 年度評価		
		担当課 評 価	指定管理制度にて村より委託している泉崎カントリーヴィレッジにおいて体育施設とカントリーヴィレッジの利便性をアピールする営業活動を実施している。首都圏の大手旅行業者への営業、県内宿泊施設で組織する団体において教育旅行合宿キャラバン等に参加し隣県の中学校、高校、大学にスポーツ合宿誘致活動を積極的に行っている。	
		B		
	改善 (A)	29 年度における取り組みなど		
		継続して事業を実施する。		
	委員会意見	評価等に対する意見		
		委員会 評 価	総合戦略の KPI 達成に有効であった。	
		B		

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

泉崎村まち・ひと・しごと創生総合戦略 P D C A サイクル 進捗管理シート

平成 28 年度分	担当課	教育課生涯学習グループ
基本目標	3 ひとの流れをつくる	
施策の枠組み	(3) 観光・交流の基盤となるスポーツ・文化の振興	
具体的施策	①スポーツによる地域振興	
事業名	指導者及びスポーツ推進員の育成事業	
事業概要	最終予算額 148 千円	決算額 95 千円
	スポーツ推進委員や指導者が各スポーツ競技の指導を行いながら村の大会や駅伝大会中継所のサポートを行う。 又、県スポーツ推進委員研究大会や西白河地方実技研修会講演会に参加し知識向上を図る。	

計画 (P) ↓ 実施 (D)	目標事項・進捗状況	目標事項	スポーツ推進員育成数					
		K P I	15 人 (H31 年度)					
		現状値	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度	備考
		数 値	11 人	11 人				
		達成率	73 %	73 %				
		目標事項						
		K P I						
		現状値	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度	備考
		数 値						
		達成率						

平成 28 年度	評価 (C)	28 年度評価	
		担当課 評価	各スポーツ競技の指導と村の大会や駅伝中継所のサポートは出来たと思うが、県研究大会や西白河地方技術研修会へのスポーツ推進委員の参加者が少なかった。
	C		
	改善 (A)	29 年度における取り組みなど	
		研修会等の事務局同伴回数を増やすことや関連行事の案内回数を増やし参加促進する。また、スポーツ少年団等の指導員等に推進員委嘱への呼びかけを行う。	
	委員会意見	評価等に対する意見	
		委員会 評価	総合戦略の KPI 達成に有効であった。
	C		

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
- B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
- C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
- D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
- E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

泉崎村まち・ひと・しごと創生総合戦略 P D C A サイクル 進捗管理シート

平成 28 年度分		担当課	中央公民館
基本目標	3 ひとの流れをつくる		
施策の枠組み	(3) 観光・交流の基盤となるスポーツ・文化の振興		
具体的施策	②地域の文化財・民俗芸能の保存・継承		
事業名	新たな活動団体の創出事業		
事業概要	最終予算額 50 千円		決算額 44 千円
	伝統文化保存会をはじめとした、地域の文化・芸術活動を支援します。		

計画 (P) ↓ 実施 (D)	目標事項・進捗状況	目標事項	文化活動団体数					
		K P I	8 団体 (H31 年度)					
		現状値	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度	備考
		数 値	—	6 団体	6 団体			
		達成率	—	7 5 %	7 5 %			
		目標事項						
		K P I						
		現状値	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度	備考
		数 値						
		達成率						

平成 28 年度	評価 (C)	28 年度評価	
		担当課 評 価	新たな活動団体の創出は実施していない。
		D	
	改善 (A)	29 年度における取り組みなど	
		新たな活動団体の創出は出来ていないが、H28 年度には「地方創生加速化交付金」により、「念佛踊り保存会」、「峠節保存会」の衣装を購入したこともあり、新会員も増え、今まで以上に意欲的に活動を展開している。 また、伝統文化を次世代に伝承することのみならず、創作舞踊等にも取り組み、活動の場をさらに広げている。	
	委員会意見	評価等に対する意見	
		委員会 評 価	総合戦略の KPI 達成に有効とは言えない。
		D	

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

泉崎村まち・ひと・しごと創生総合戦略 P D C A サイクル 進捗管理シート

平成 28 年度分	担当課	教育課生涯学習グループ
基本目標	3 ひとの流れをつくる	
施策の枠組み	(3) 観光・交流の基盤となるスポーツ・文化の振興	
具体的施策	②地域の文化財・民俗芸能の保存・継承	
事業名	文化財マップや説明板の設置事業	
事業概要	最終予算額 659 千円	決算額 659 千円
	文化財マップの作成や説明板を設置することにより、村内の文化財の調査や研究の充実を図ると共に、文化財の保存や活用を推進する。	

計画 (P) ↓ 実施 (D)	目標事項・進捗状況	目標事項	文化財マップ (ガイドブック上で地図掲載)					
		K P I	実施済 (H31 年度)					
		現状値	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度	備考
		数 値	—	未実施	5 0 %			
		達成率	—	0 %	5 0 %			
		目標事項						
		K P I						
		現状値	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度	備考
		数 値						
		達成率						

平成 28 年度	評価 (C)	28 年度評価	
		担当課 評 価	学校補助教材及び村文化財紹介資料として「泉崎村文化財ガイドブック」を発刊した。今年度は各小中学校に配布し、活用を図った。次年度から小学 6 年生に対し配布を予定している。また、今年度作成に至らなかったガイドマップについては、ガイドブックと関連性をもたせ、平成 29 年度において作成する。
	(A) 改善	C	
		29 年度における取り組みなど	ガイドブックと一体的に使用することができるガイドマップを作成する。
	委員会意見	評価等に対する意見	
		委員会 評 価	総合戦略の KPI 達成に有効であった。
		C	

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

泉崎村まち・ひと・しごと創生総合戦略 P D C A サイクル 進捗管理シート

平成 28 年度分	担当課	教育課生涯学習グループ
基本目標	4 安心をつくる	
施策の枠組み	(1) 暮らしの安全・安心の確保	
具体的施策	①地域コミュニティの再生と活性化	
事業名	コミュニティ交通の充実事業	
事業概要	最終予算額 2,619 千円	決算額 2,328 千円
	小さな拠点推進のためのコミュニティ交通充実の観点から、ふれあい号のデマンド交通化を行う。	

計画 (P) ↓ 実施 (D)	目標事項・進捗状況	目標事項	ふれあい号の利用者数					
		K P I	2, 5 0 0 人 (H31 年度)					
		現状値	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度	備考
		数 値	—	2,017 人	2,373 人			
		達成率	—	80%	95%			
		目標事項						
		K P I						
		現状値	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度	備考
		数 値						
		達成率						

平成 28 年度	評価 (C)	28 年度評価	
		担当課 評 価	上半期（4～9月）の利用は前年より低かったが、下半期の利用が向上し、目標値近くまで利用率をあげることができた。
		B	
	改善 (A)	29 年度における取り組みなど	
		平成 29 年 3 月より、通常定時運行に加えて買い物便の運航をスタートした。予約制により毎週水曜日に村内の商業施設、金曜日に村外のショッピングモールへの買い物便を運行し、高齢者の買い物支援を図る。	
	委員会意見	評価等に対する意見	
		委員会 評 価	総合戦略の KPI 達成に有効であった。
		B	

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

泉崎村まち・ひと・しごと創生総合戦略 P D C A サイクル 進捗管理シート

平成 28 年度分		担当課	中央公民館
基本目標	4 安心をつくる		
施策の枠組み	(1) 暮らしの安全・安心の確保		
具体的施策	①地域コミュニティの再生と活性化		
事業名	世代間交流事業の推進・実施事業		
事業概要	最終予算額 50 千円	決算額	50 千円
	世代を超えた異年齢での体験活動を通して、互いに人との関わり方を学ぶとともに、協調性・尊重性・思いやりの気持ちを育む事業を推進します。		

計画 (P) ↓ 実施 (D)	目標事項・進捗状況	目標事項	世代間交流事業数					
		K P I	5 事業 (H31 年度)					
		現状値	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度	備考
		数 値	—	3 事業	4 事業			
		達成率	—	6 0 %	8 0 %			
		目標事項						
		K P I						
		現状値	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度	備考
		数 値						
		達成率						

平成 28 年度	評価 (C)	28 年度評価	
		担当課 評 価	ボランティア連絡協議会会員らが第一小学校『泉っ子まつり』と第二小学校『交流昔の遊び集会』の講師として参加し、児童と昔ながらの遊びを一緒に楽しむことで交流を深めている。 また、昨年度より幼稚園行事の『団子さし』にも参加し、古くから伝わる伝統行事を通して園児との心の触れあいを図った。
	改善 (A)	B	
			29 年度における取り組みなど 泉崎の魅力発見事業として、H28 年度に「鳥峠の自然を守る会」を設立し、会員 (30 名: 平均年齢 70 歳) と園児・小中学生が交流できる「自然観察会」を開催した。 世代間交流も行える事業として、H29 年度も実施する予定である。
	委員会意見	評価等に対する意見	
		委員会 評 価	総合戦略の KPI 達成に有効であった。
		B	

- A: 目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B: ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C: 目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D: 目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E: 目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

泉崎村まち・ひと・しごと創生総合戦略 P D C A サイクル 進捗管理シート

平成 28 年度分	担当課	事業課産業グループ
基本目標	4 安心をつくる	
施策の枠組み	(1) 暮らしの安全・安心の確保	
具体的施策	②空き家等対策の推進	
事業名	空き屋対策事業	
事業概要	最終予算額 0 千円	決算額 0 千円
	空き家物件の状況を調査・把握し、居住可能な物件の空き家バンクへの登録と、インターネットを介した情報提供により、移住希望者等とのマッチングを図ります。また、倒壊等の危険性のある家屋の所有者に対して、今後の利用予定がない場合の撤去を促します。	

計画 (P) ↓ 実施 (D)	目標事項・進捗状況	目標事項	空き家調査の実施					
		K P I	実施済 (H31 年度)					
		現状値	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度	備考
		数 値	—	実施済	実施済			
		達成率	—	100%	100%			
		目標事項	空き家バンク登録物件数					
		K P I	10 件 (H31 年度)					
		現状値	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度	備考
		数 値		0 件	0 件			
		達成率		0 %	0 %			

平成 28 年度	評価 (C)	28 年度評価	
		担当課 評 価	平成 27 年度に空き家実態調査は実施済みとなっているが、空き家バンク等の利活用方法については現在検討中となっております。
		C	
	改善 (A)	29 年度における取り組みなど	
		空き家対策は、空き家の持ち主及び地域住民との話し合いの場も必要とされる事から、他市町村の事例を参考にしながら対応したいと考える。	
	委員会意見	評価等に対する意見	
		委員会 評 価	総合戦略の KPI 達成に有効であった。
		C	

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

泉崎村まち・ひと・しごと創生総合戦略 PDCAサイクル 進捗管理シート

平成 28 年度分	担当課	住民福祉課住民グループ
基本目標	4 安心をつくる	
施策の枠組み	(1) 暮らしの安全・安心の確保	
具体的施策	③地域防犯・防災力の強化	
事業名	消防団の充実事業	
事業概要	最終予算額 18,267 千円	決算額 17,116 千円
	泉崎村消防団は、現在 6 分団に分かれている。このため、幹部人数も多く全ての幹部団員に連絡を取るだけでもかなりの時間を要している。このことから、2 分団制とすることにより、指揮系統を単純化・短縮化し、幹部経験や知識の不均衡をなくす。また、現在も組織化されている機能別消防団の更なる充実を図り、就労形態の変化等による出動不可団員の補完に努めると共に、国が推進する女性消防団員及び学生消防団員の新規確保に努める。	

計画 (P) ↓ 実施 (D)	目標事項・進捗状況	目標事項	消防団員数					
		K P I	2 4 1 人 (H31 年度)					
		現状値	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度	備考
		数 値	—	2 4 1 人	2 4 1 人			
		達成率	—	100%	100%			
		目標事項						
		K P I						
		現状値	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度	備考
		数 値						
		達成率						

平成 28 年度	評価 (C)	28 年度評価	
		担当課 評価	本年度においては、消防団幹部会の開催時に、現幹部に対し 2 分団制への移行について説明し、消防団組織再編の内容の浸透を図ると共に、現機能別消防団員への継続依頼及び新規加入候補者の発掘に取り組んでいることから、2 分団制移行については概ね予定通り進行している。
		B	
	改善 (A)	29 年度における取り組みなど	
		昨年度から引き続き 2 分団制移行についての取り組みを進め、消防団員の連携や意識向上を図る。また、消防車両の購入や消防屯所改修など設備や施設の強化、充実を目標に取り組み。	
	委員会意見	評価等に対する意見	
		委員会 評価	総合戦略の KPI 達成に有効であった。
		B	

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

泉崎村まち・ひと・しごと創生総合戦略 PDCAサイクル 進捗管理シート

平成 28 年度分	担当課	住民福祉課住民グループ
基本目標	4 安心をつくる	
施策の枠組み	(1) 暮らしの安全・安心の確保	
具体的施策	③地域防犯・防災力の強化	
事業名	災害時応援協定の締結事業	
事業概要	最終予算額 0 千円	決算額 0 千円
	村では現在、災害時応援協定として、南会津郡の 4 町村及び西白河郡の 4 町村と協定を締結しているほか、「LP ガス等の供給協力に関する協定」を一般社団法人福島県 LP ガス協会白河支部と、「生活物資の確保及び供給に関する協定」を白河青果株式会社及び丸水白河魚市場株式会社との間に結んでいる。また、かねてより交流のある長野県下條村との間に災害時応援協定を締結している。今後、住民の安全・安心を確保するため、協定の締結先を模索する。	

計画 (P) ↓ 実施 (D)	目標事項・進捗状況	目標事項	災害時応援協定の締結数					
		KPI	4 (H31 年度)					
		現状値	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度	備考
		数 値	—	3	4			
		達成率	—	75%	100%			
		目標事項						
		KPI						
		現状値	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度	備考
		数 値						
		達成率						

平成 28 年度	評価 (C)	28 年度評価	
		担当課 評 価	現在、日本郵政株式会社泉崎郵便局との間に、平常時の高齢者の見守り、村道等損傷箇所発見時の対応及び不法投棄発見時の対応を含めた、災害時の協力に係る協定締結についても協議を進めている。
	(A) 改善	B	
			29 年度における取り組みなど 日本郵政株式会社泉崎郵便局との間で検討している平常時の高齢者の見守り、村道等破損箇所発見時の対応及び不法投棄発見時の対応について具体的な取り組みについてつめていきたい。
	委員会意見	評価等に対する意見	
		委員会 評 価	総合戦略の KPI 達成に有効であった。
		B	

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

泉崎村まち・ひと・しごと創生総合戦略 P D C A サイクル 進捗管理シート

平成 28 年度分	担当課		総務課企画財政グループ
基本目標	4 安心をつくる		
施策の枠組み	(1) 暮らしの安全・安心の確保		
具体的施策	④公共施設等の戦略的な維持管理		
事業名	村の情報基幹システムのクラウド化		
事業概要	最終予算額 0 円	決算額 0 円	
	しらかわ地域市町村クラウド化検討グループで基幹系システムクラウド化（共同利用）に向けた検討を行い、平成 30 年度を目標に移行する。		

計画 (P) ↓ 実施 (D)	目標事項・進捗状況	目標事項	クラウド化の実施					
		K P I	実施済（H31 年度）					
		現状値	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度	備考
		数 値	—	未実施	未実施			
		達成率	—	0 %	0 %			
		目標事項						
		K P I						
		現状値	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度	備考
		数 値						
		達成率						

平成 28 年度	評価 (C)	28 年度評価	
		担当課 評 価	白河市が中心となり、しらかわ地域市町村クラウド化検討グループに関する打合せが、今年度は 4 月と 10 月に開催された。
		B	泉崎村では移行に参加する意向である。
	改善 (A)	29 年度における取り組みなど	
		引き続き関係市町村との協議に参加していく。	
	委員会意見	評価等に対する意見	
		委員会 評 価	総合戦略の KPI 達成に有効であった。
		B	

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

泉崎村まち・ひと・しごと創生総合戦略 PDCAサイクル 進捗管理シート

平成 28 年度分		担当課	総務課企画財政グループ
基本目標	4 安心をつくる		
施策の枠組み	(1) 暮らしの安全・安心の確保		
具体的施策	④公共施設等の戦略的な維持管理		
事業名	公共施設実態調査の実施		
事業概要	最終予算額 0 円		決算額 0 円
	既存公共施設について、必要性・住民アクセス・有効土地利用等の観点から統廃合や再配置を検討するとともに、計画的な補修・修繕を行うことにより、各施設の維持管理に努めます。		
	全ての公共施設の実態調査を行うことにより、今後、必要となる更新費用の算定を行なう。		

計画 (P) ↓ 実施 (D)	目標事項・進捗状況	目標事項	公共施設実態調査の実施					
		K P I	実施済 (H31 年度)					
		現状値	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度	備考
		数 値	—	未実施	未実施			
		達成率	—	0 %	0 %			
		目標事項						
		K P I						
		現状値	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度	備考
		数 値						
		達成率						

平成 28 年度	評価 (C)	28 年度評価	
		担当課 評 価	実施していません。
		B	
	(A) 改善	29 年度における取り組みなど	
		平成 31 年度までに実施できるよう準備していく。	
	委員会意見	評価等に対する意見	
		委員会 評 価	総合戦略の KPI 達成に有効であった。
		B	

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

泉崎村まち・ひと・しごと創生総合戦略 P D C A サイクル 進捗管理シート

平成 28 年度分	担当課		住民福祉課福祉グループ
基本目標	4 安心をつくる		
施策の枠組み	(2) 医療と福祉の充実・連携		
具体的施策	①介護離職ゼロの推進		
事業名	地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護への優遇措置制度の検討		
事業概要	最終予算額 0 千円	決算額 0 千円	
	家族介護者の急な仕事の都合等に対しても柔軟に対応可能な、地域密着型特別養護老人ホームを整備する事業所に対して、多様な優遇措置を検討し、介護を理由とした離職ゼロを目指します。また、企業・事業者に向けて、介護を要する家族等を持つ就業者のワーク・ライフ・バランス啓発の講習会を実施します。		

計画 (P) ↓ 実施 (D)	目標事項・進捗状況	目標事項	地域密着型特別養護老人ホーム数					
		K P I	1 (H31 年度)					
		現状値	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度	備考
		数 値	—	0	0			
		達成率	—	0 %	0 %			
		目標事項						
		K P I						
		現状値	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度	備考
		数 値						
		達成率						

平成 28 年度	評価 (C)	28 年度評価	
		担当課 評 価	地域密着型特老の開所が平成 29 年度となるため未着手。
		D	
	改善 (A)	29 年度における取り組みなど	
		優遇措置、講演会など十分に検討したい。	
	委員会 意見	評価等に対する意見	
		委員会 評 価	総合戦略の KPI 達成に有効とは言えない。
		D	

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

泉崎村まち・ひと・しごと創生総合戦略 P D C A サイクル 進捗管理シート

平成 28 年度分	担当課	住民福祉課福祉グループ
基本目標	4 安心をつくる	
施策の枠組み	(2) 医療と福祉の充実・連携	
具体的施策	②地域医療の充実	
事業名	救急医療体制の維持及び充実	
事業概要	最終予算額 0 千円	決算額 0 千円
	医療の質の向上とともに、広域的医療機関との役割分担や連携強化に向けた支援を行い、子どもから高齢者までを対象とした、幅広い医療の充実に努めます。	

計画 (P) ↓ 実施 (D)	目標事項・進捗状況	目標事項	広域的医療機関との連携事業数					
		K P I	1 事業 (H31 年度)					
		現状値	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度	備考
		数 値	—	0 事業	0 事業			
		達成率	—	0 %	0 %			
		目標事項						
		K P I						
		現状値	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度	備考
		数 値						
		達成率						

平成 28 年度	評価 (C)	28 年度評価	
		担当課 評 価	現在、白河地方広域で救急医療体制の維持・充実を図るため医師の確保支援に係る白河管内市町村の支援負担金や周産期医療体制等確保のための負担金を拠出しています。
		E	
	改善 (A)	29 年度における取り組みなど	
		今後も継続して広域市町村で体制の充実を図っていきます。	
	委員会意見	評価等に対する意見	
		委員会 評 価	総合戦略の KPI 達成に有効とは言えない。
		E	

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

泉崎村まち・ひと・しごと創生総合戦略 P D C A サイクル 進捗管理シート

平成 28 年度分		担当課	中央公民館
基本目標	4 安心をつくる		
施策の枠組み	(2) 医療と福祉の充実・連携		
具体的施策	③地域における福祉の支え合い活動の促進		
事業名	泉崎村ボランティア連絡協議会の機能強化事業		
事業概要	最終予算額 50 千円	決算額	50 千円
	高齢化が進む中、寝たきりや一人暮らしの方の数が年々増加傾向にある。 そこで、ボランティア団体及び個人ボランティアの相互連携を図りながら見守り・訪問活動・地域の人等との交流の場づくりなどを提供したい。		

計画 (P) ↓ 実施 (D)	目標事項・進捗状況	目標事項	ボランティア団体数					
		K P I	10 団体 (H31 年度)					
		現状値	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度	備考
		数 値	8 団体	8 団体				
		達成率	80%	80%				
		目標事項						
		K P I						
		現状値	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度	備考
		数 値						
		達成率						

平成 28 年度	評価 (C)	28 年度評価	
		担当課 評 価	現在では各小学校への総合学習の参加や各イベントへの協力、清掃等が主な活動となっているので、『地域における福祉の支え合い活動』について改めて検討し、事業を展開していきたい。
		C	
	改善 (A)	29 年度における取り組みなど	
		H29 年度新会員として「西白河ライフケア会」(ケアハウス泉崎) が加入したので、老人福祉、予防支援等について専門的なアドバイスをいただきながら地域福祉活動を推進していきたい。	
	委員会意見	評価等に対する意見	
		委員会 評 価	総合戦略の KPI 達成に有効であった。
		C	

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

泉崎村まち・ひと・しごと創生総合戦略 P D C A サイクル 進捗管理シート

平成 28 年度分		担当課	中央公民館
基本目標	4 安心をつくる		
施策の枠組み	(2) 医療と福祉の充実・連携		
具体的施策	③地域における福祉の支え合い活動の促進		
事業名	ボランティアリーダーの養成・研修事業の実施		
事業概要	最終予算額 0 千円		決算額 0 千円
	ボランティア活動への住民の参加意欲醸成のため、広報・啓発や情報提供に努めます。 また、ボランティア活動の推進体制を整備するとともに、人材の育成等、全体的な取り組みを強化します。		

計画 (P) ↓実施 (D)	目標事項・進捗状況	目標事項	ボランティアリーダー育成数					
		K P I	2 人 (H31 年度)					
		現状値	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度	備考
		数 値	—	0 人	0 人			
		達成率	—	0 %	0 %			
		目標事項						
		K P I						
		現状値	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度	備考
		数 値						
		達成率						

平成 28 年度	評価 (C)	28 年度評価	
		担当課 評 価	実施していない。
		D	
	改善 (A)	29 年度における取り組みなど	
		泉崎村ボランティア連絡協議会活動の参加促進を図る際、ボランティアリーダーの養成・研修事業の実施を視野に入れながら事業を展開していきたい。	
	委員会意見	評価等に対する意見	
		委員会 評 価	総合戦略の KPI 達成に有効とは言えない。
		D	

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

泉崎村まち・ひと・しごと創生総合戦略 PDCAサイクル 進捗管理シート

平成 28 年度分	担当課	総務課企画財政グループ
基本目標	5 まちをつなぐ	
施策の枠組み	(1) 地域間連携の推進	
具体的施策	① しらかわ地域定住自立圏構想の推進	
事業名	しらかわ地域定住自立圏形成協定	
事業概要	最終予算額 35,678 千円	決算額 25,766 千円
	白河市と生活圏や経済圏をともしする、泉崎村を含めた 9 市町村長参加による「しらかわ地域定住自立圏推進協議会」のしらかわ地域定住自立圏共生ビジョンの推進に努めます。	

計画 (P) ↓ 実施 (D)	目標事項・進捗状況	目標事項	しらかわ地域定住自立圏形成協定に基づき推進する具体的取り組みの推進					
		KPI	41 事業 (H31 年度)					
		現状値	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度	備考
		数 値	16 事業	12 事業				
		達成率	39%	29%				
		目標事項						
		KPI						
		現状値	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度	備考
		数 値						
		達成率						

平成 28 年度	評価 (C)	28 年度評価	
		担当課 評価	しらかわ地域定住自立圏共生ビジョンに掲載している事業で、実施していない事業が増えてしまった。
		C	
	改善 (A)	29 年度における取り組みなど	
		しらかわ地域定住自立圏共生ビジョンに掲載している事業は、特別交付税の措置があるため、各担当課に事業を実施するよう要請する。	
	委員会意見	評価等に対する意見	
		委員会 評価	総合戦略の KPI 達成に有効であった。
		C	

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。